

**一人ひとりが生き生きとめあてを持って
意欲的に取り組むための授業の工夫
～楽しさを獲得するための指導法・評価の在り方～
大分県宇佐市立四日市南小学校**

全校児童数	256名(男子132名 女子123名)		
全クラス数	14	教職員数	30名
体育専科教員訪問学校数			7校
訪問校	四日市南小、駅館小、糸口小、宇佐小、柳ヶ浦小、院内北部小、津房小		
体育専科教員名		宮秋 淳也	

Plan：取組時の課題と計画

1 取組時の課題

- ◆コロナ禍の影響もあり、体育が好きな児童と嫌いな児童が二極化している。
- ◆体力調査の結果から宇佐市では「50m走」と「立ち幅跳び」に共通する【素早さ】に課題がある。
- ◆ICT 機器の活用を含めた授業実践を通じた資質能力の育成。

2 取組の計画

○勤務校での計画

- ① T1・T2 体制で「ねらい」を持った授業に取り組む。
- ② 「素早さ」の向上に繋がる一校一実践
- ③ 思考力・判断力・表現力等の育成に繋がる ICT 機器の活用を取り入れた授業提案

○訪問校での計画

- ① 「運動の楽しさ」や「動きの素早さ」の向上に繋がる授業提案

Do：実践内容

1 T1・T2 体制で「ねらい」を持った授業実践

(1) 毎時間、1～6年生の指導案を作成し、「ねらい」(特に主眼の B においては『着眼点と思考スキル』の認知処理を伴った学習活動を記述表記している)を共有しながら児童の実態に応じた授業支援の体制を充実させている。

① 単元の振り返りでは「できるようになったら、体育が楽しくなった」「運動することが楽しい」と感じている児童の実態が多く見られる。

② 教職員からは「ねらい」を共有することで具体的な児童への発問や支援の仕方、T1・T2 の役割分担がし易いなど充実した授業を展開することができている。

2 一校一実践「1 分間チャレンジ」

(1) 50m走や反復横跳びに繋がる「素早さ」を向上させるために「1 分間チャレンジ(縄跳び)」を毎時間の体育授業の最初の活動に取り入れて全校で実施している。

3 ICT 機器の活用を取り入れた授業提案

(1) 思考力・判断力・表現力等を育成するための ICT 機器の活用として、「自己の問題解決と学習評価を一体化した学習カード」「お手本動画と自己の動きを比較し、自己の問題解決に繋がる動画分析」「器械運動系領域では、単元を通じた言語活動として自己の技能成果をまとめたお手本動画を作成し2年生にプレゼントしよう」等の学習

活動を取り入れて授業提案を行った。

4 「運動の楽しさ」や「動きの素早さ」に繋がる外部指導を通じた授業提案

(1) 「50m走」や「立ち幅跳び」の構成要素である「素早さ」の能力向上に繋がるように、様々な運動遊びを取り入れながら児童が動き方を工夫したり、遊び感覚で楽しみながら運動することで運動量を確保したりする授業を提案している。また、授業の最後に記録会を実施し、参加した多くの児童が自己記録を更新することができている。

① 児童の振り返りから

「人間は45分で足が速くなるんだなと思った。」

「色々な跳ぶ運動は疲れたけどとても楽しかったです。今までで一番遠くに跳べたことがとてもうれしかったです。」

② 参観された教員のアンケートから

「子どもの意欲と運動量の多さに感動しました。」

●工夫したこと(&苦労した点)

(1) 50m走や立ち幅跳びに繋がる「素早さ」を高めるための授業を提案する際に「種目の構成要素と関連付けた運動をどうすればよいか」「誰でも簡単にできる場の設定や教具はどのようなものがあるか」等の視点を基に工夫を重ねた点。

Check：取組の成果

- ① 「運動や体育が好き」と答える児童が90%(目標は85%)を越えることができています。
- ② 全12学年中11学年が「50m走」「立ち幅跳び」の記録が全国平均を越えることができています。

Action：今後の課題

- ① コロナ禍でも全校が一斉に取り組める一校一実践を考案し、体力向上の在り方に繋げる。
- ② T1として学習に関わるが多かったが、T2の立場で学習支援ができるように、校内研修を充実させ教員の授業力向上に努める。

◎体力向上の取組がもたらす波及効果

体力向上の取り組みや体育授業で「どうすれば自己の体力及び技能が向上するか」を軸に据えることで、体力の向上と同時に学習方略(自己の学びの見通しや調節力等)が高まっていく波及効果を実感することができた。

T1・T2体制で「ねらい」を持った授業実践

1月17日	単元名	めざせ、返球マスター!	時数	2/7
ねらい	A: アンダーハンドパスやオーバーハンドパスについて B: 手首、腕や体の向きなどの体勢に着目し教師や友だちのお手本の動き方と比較することを通して C: 意図した方向にボールをはじいて返球することができる。			
【観点】 評価規準	【技能】 手首を固定したり、腕の振り方に強弱をつけたり、狙った方向に体を向けたらしてアンダーハンドパスやオーバーハンドパスで意図した方向にボールをはじくことができる			

B・学習活動には「着眼点と思考スキル」を記述することで認知活動を伴う技能習得をねらっている

一校一実践「1分間チャレンジ」

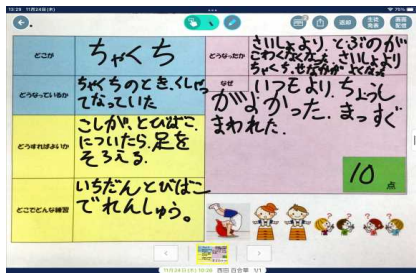


一校一実践では「素早さ」を向上させるために1分間のなわとびに全校で取り組む。



低学年はマーカーコーン跳びでチャレンジ!

ICT機器の活用を取り入れた授業提案



自己の問題解決と学習評価を一体化した学習カード



自己の問題解決に繋げるための動画分析



究極のコツをお手本動画にまとめて、2年生にプレゼントしたお手本動画

「楽しさ」「素早さ」に繋がる外部指導を通した授業提案



紅白のお手玉を利用して腕の振り方を視覚化したり、カーブ走ドンジャンを取り入れた「走」の運動



サイコロを振って様々なパイナップルジャンプに楽しくとりくむ「跳」の運動